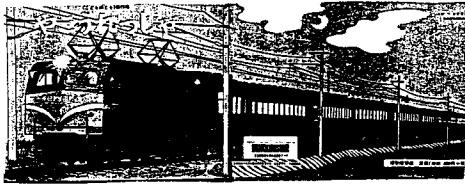


子どもたちといっしょに「やこうれっしゃ」

くじのとも 傑作集 編者 西村 繁男 さん

やこうれっしゃで、旅をしたことがありますか？
この絵本は、絵だけの本ですが、一頁をゆくり見ると、不思議な事に、人々の話し声や、音などが、聞えてくるのです。上野から金沢まで、夜行列車での旅を、この一冊の絵本で体験したような気になります。作者の西村繁男さんの得意な分野です。細かいところまで描き入れているので、ゆくり絵を見て、楽しんでください。

西村さんの絵本、二のほか「おぼろやさん」「おあすもやがやってきた」「にちよういち」があります。他に「絵でみる日本の歴史」、また那須正幹作の「絵で読む広島原爆」の絵も担当しています。ご家族で、おたのしみください。



しろね図書館だより

No. 14

発行 白根市立図書館

平成13年7月1日

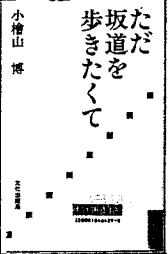
ご利用ありがとうございます。梅雨も終りに近く、本格的な夏がやって来ようとしています。夏休みは、図書館で、休書にお過ごしください。そのかわり、お願いがあります。ご利用のマナーを、よく考えて、お互いに気持ちよくお過ごしいただきたいのです。おとなの人がソファで横になっておられることが、時々ありますが、子どもさんには、まねして欲しくない光景です。よろしくお願いたします。

第9回読書会

小樽山 博作(文化出版局)のエッセー集です。
日時・7月15日(日)
13:30~3:30
場所・白根学習館1F-42

ご希望の方は、右の本を用意していますので、カウンターでおたずねください。この本を読んできていただいて感想を述べ合って、楽しいひとときを過ごしませんか。

しろね図書館 共催
しろね図書館友の会



私のおすすめ本 著名「とびざりのおはなし」
白根小学校4年3組 (かほ人 ひろのり ささ子) (出版社 あかね書房)
早澤 幸
●とびざりのあたたかな春の日、のほらでたんぽぽがさきました。とびざりひかっとさきました。わたしは、ひかると言うところが、ほんとうにひかたんたなと思いました。みなさんも言う本を作ってみたらどうですか？

予告 かわ~いおはなし大会
8月18日(土)3:00~5:00
参加は、第1回目3:00~3:30 小学生以上
第2~4回は小学生以上です。
くわしくは、広報しほねと、図書館だよりで。



6月の
来館者----- 14,371人(見学152人含)
貸出冊数----- 12,589冊
予約件数----- 293件
ブックバス利用者----- 633人
貸出冊数----- 1,754冊

リクエスト情報(しばらくおまちください)

- 1位・模倣犯(15人)
- 2位・4-ズぼんこへ消えた?(11人)
- 3位・金持ちさん貧乏さん(6人)
- 4位・石原家の人びと(6人)
- 4位・天の瞳(5人)

第2回「図書館員になってみる日」

ちょっとだけ図書館員をやってみませんか？
「とても、おもしろかった」
「としかんのじとって、おもったよりたいへんだった」
と、昨年の参加者からの声がありました。ぜひ、やってみてください。しほらい図書館員として仕事をしてみたい人も、どうしたら図書館員になれるかを、お教えしましょう。
やる日時・7月25日(木)、26日(木)、27日(金)
午前 9:00~11:30
参加できる人・小学校6年生、中学1年生、2年生
希望する人は、電話で図書館に申し込みください。でんわ(372)5510(ゴ-ゴ-としかん) 全部で18名、多ければ抽選 (7月11日~14日が申し込み期間)

子どもの本の講座(おとなの人だけ)

子どもの本が、ものすごく面白いものだという事、ご存知ですか。子育て真っ最中の人も、そうではない人も、その魅力を知られたら、やみつきになる世界です。ご参加お待ちしております。
1回目・7月8日(日)AM 10:00~12:00 「絵本の魅力」
2回目・7月15日(日)AM 10:00~12:00 「物語の魅力」
場所・白根学習館2F15-41
申し込みは、電話でしろね図書館まで ☎372-5510 (保育はありません)

7月の行事とブックバス予定

4 (水)	絵本のじかん 3:00~	大通小 2:45~3:30 榎岸小 4:10~4:40	18 (水)	絵本のじかん 3:00~	大通小 2:45~3:30 榎岸小 4:10~4:40
5 (木)		大鷲小 3:00~3:45 白根2中 4:00~4:40	19 (木)		大鷲小 3:00~3:45 白根2中 4:00~4:40
6 (金)		白根小 1:00~2:00 小林小 2:30~3:30	21 (土)	おはなし会 2:00~	新設別冊 2:30~3:00 ア石公 3:30~4:00
7 (土)	4才・市長 おはなし会 3:00~	新設別冊 2:30~3:00 ア石公 3:30~4:00	25 (水)	図書館員になってみる日	
8 (日)	子どもの本の講座 10:00~		26 (木)	図書館員になってみる日	
11 (水)	絵本のじかん 3:00~	新設別冊中 12:55~1:40 次瀬小 2:10~3:15 左瀬中 12:55~1:35 左瀬小 2:00~2:40 左瀬小 3:00~3:45	27 (金)	図書館員になってみる日	
12 (木)		白井小 2:30~3:15 白井中 3:40~4:40	28 (土)	おはなしごっこ例会	大通地C 2:00~2:30 大鷲中 2:50~3:20 榎岸小 3:40~4:10
13 (金)		大通地C 2:00~2:30 大鷲中 2:50~3:20 榎岸小 3:40~4:10	31 (火)	第2回真夏の夜の映画祭	
14 (土)	おはなしごっこ例会		28 (土)	おはなしごっこ例会	
15 (日)	子どもの本の講座 10:00		31 (火)	第2回真夏の夜の映画祭	

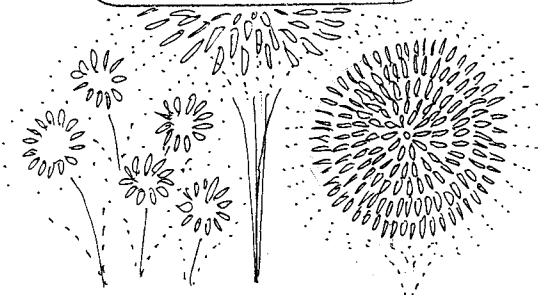
青い空を待ちながら、大事な雨にも感謝して、しばらく過ごしましょう。原稿を寄って下さった方々、ありがとうございます。

Table listing various books with titles like 'ハンドメイドフェルトの素敵なこもの', '銀花 第120号', 'お菓子づくりでまよったら', etc.

Table listing authors and publishers such as 'かねこ かよこ|著', 'サントス アントワー', '深見 弘子|著', etc.

調べ学習にどうぞ

Table listing educational materials like '図解むかしのくらし 1', '図解むかしのくらし 2', etc.



7月の展示架は「夏」です。これはおすすめ本です

- List of recommended books: 「ねじれた夏」(ウロデイビスロバリー) 講談社, 「夏の庭」(湯本香樹実) ベネッセ コーポレーション, etc.

～図書館員がおすすめするこの一冊～

『おやすみなさいトムさん』 ミシェル・マゴリアン/作 中村妙子/訳

第二次世界大戦中のイギリスのある疎開児童をめぐる物語です。

でもこれだけでは、終わらないのが『おやすみなさいトムさん』の妻さ。疎開児であるウィリアム～ウィル～はひどい栄養失調、そして母親からの折檻(せつかん)を受けていました。ウィルは疎開して一人になるまで母親だけの世界に生きてきました。どんなに傷つけられてもそれは自分が悪い子であるからだと疑わずに信じているのです。母親は「お前のような子は誰も好きにはならない」とまで教え込みます。愛情を全く知らないウィルはトムという人嫌いの頑固な老人との間に通いあうようになる情愛、疎開先の村の人たちの優しさに最初は戸惑います。でも、その愛情、友情、の暖かさに支えられてウィルの中に秘められていた才能が開かれ、人との関わりを避けていたトムもまた変わり始めていきます。



やっと、これから新たにスタートするウィルとトムに母親から手紙が届きます....

母親に愛情もなく育てられたウィルがどんな風に成長していくのか、気づくと引き込まれてしまいます。ぜひ、トムの深い愛に、優しさに触れて欲しいです。きっとみなさんの心に留まる物語です。どうぞ、試されてみてはいかがでしょうか。

(ティーンズコーナー 933マ)

【 司書 大野恵子 】

読書会に参加して

(第八回読書会 六月十七日)

「日本の昔話 ③おもたろう」おきわてしお 再話

木川久子

「この本は『日本の昔話』全五巻の中の二冊で、私は三巻のおもたろうを選び読んでみました。この巻には、ほかに六十四話が収められております。

昔話の桃太郎といえは余りにも有名で、誰でも幼い頃に一度は語って聞かされたり、絵本で読んだことがあるのではないのでしょうか。知りすぎている故に私はこの本を長い間ひらくことがありませんでした。そんなときに手にした「おもたろう」。何となく幼友達にでも会うような気さえて、自分の内に入っているあらゆるすじをなぞるように買を繰っていきます。

「桃から生まれたのだから桃太郎にしよう」..... 「この辺までは馴染んだ筋書通りでした。ところが、その後大きく変わった桃太郎が一向に働こうとせず毎日昼寝ばかりしている意気者で、村の子ども達に呆れられるという展開になりました。利発で優しい力持ちの理想像から、鬼は退治するものの、人間の負の面を隠さない桃太郎が描かれていました。

改めて図書館で絵本の「おもたろう」を探して見ると、両方のパターンの本がありました。再話されて昔話という形で伝承されるたくさんのお話があり、書く人の創作でどんな風にも変わることを図らずも知る機会になりました。おもしろく、ときには怖く又うらやましい多くの昔話に、先人の願いや心の機微を感じます。それは多分、現在を生きている私達にも共通するものに違いありません。ともあれ、子ども達の心に残る日本の昔話を伝えていかなければと思いました。